

事務事業名 防犯灯補助事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：66

施策：	08	くらしの安全対策の推進	財務コード	01020111-04-056
基本事業：	01	犯罪に強い地域づくり	担当部	総務部
基本事業の成果指標	市民が防犯のために取り組んでいる項目の数（平均） 地域（行政区又はコミュニティ）における防犯活動に参加している市民の割合		担当課	危機管理課
	防犯設備の整備状況への満足度		担当係	生活安全・防犯担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和49年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
行政区、自治会			各行政区が設置する防犯灯及びその電灯費について、予算の範囲内で補助金を交付する。 防犯灯設置補助 新設：2 / 3 補助 補修：2 / 3 補助 LEDのみで蛍光灯は認めていない。移設は補助なし。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【補助金交付の流れ】 補助金申請書、見積書、現況写真の提出 補助交付通知 完了届、請求書、領収書（写）提出 補助金交付						
防犯灯設置を促進させ、もって街頭犯罪発生件数を減少させる。			防犯灯電灯費補助 2 / 3（LED10Wの場合は1 / 2）補助 【補助金交付の流れ】 補助金申請書、防犯灯電気料の領収書（写）、請求書提出 補助金交付						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
街頭犯罪発生件数		件	255	273	250	350			350
防犯灯総設置件数		件	8,702	8,728	8,750	8,780			8,850
5. コスト									
事業費		計	千円	23,083	24,758	27,994	29,376		
		国	千円	270	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	22,813	24,758	27,994	29,376				
正職員人工数		人工	0.4	0.4	0.4				
正職員人件費		千円	3,168	3,091	3,126				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	26,251	27,849	31,120	29,376			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	<状況>街頭犯罪発生件数は増加している。 R1年中：377件、R2年中：258件、R3年中：255件、R4年中：273件 街頭犯罪：強制わいせつ等、空き巣、忍込み、居空き、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、ひったくり、車上ねらい、部品ねらい、万引き								
どちらかといえばあがっている	防犯灯をLEDに切り替える行政区が多くなっており、維持管理のコスト削減も図られている。								
あがっていない（停滞・低下）	<原因>空き巣、忍込み、万引き等が増加している。 <課題>今後も継続して、防犯灯数の増加を補助により支援していく。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
昭和49年筑紫野市防犯灯設置等補助金交付規程制定。 平成7年6月筑紫野市防犯灯設置等補助金交付規程全部改正。 平成24年3月筑紫野市防犯灯設置等補助金交付規程全部改正（LED灯への変更）。			備考・特記事項 or 進行管理欄						